8月17日（月曜日）「イエス（4）バプテスマ」

【新改訳 2017】

ルカ　3.21、22

「さて、民衆がみなバプテスマを受けていたところ、イエスもバプテスマをお受けになり、そして祈っておられると、天が開け、聖霊が、鳩のような形をして、自分の上に下られるのをご覧になった。また、天から声がした。・・・・」

　意外に思われませんか。神の御子なるお方がバプテスマのヨハネから洗礼を受けられたのです。マタイは詳しく書いています（3.13-17 参照）。バプテスマのヨハネのとまどいに対し、イエスは、「今はそうさせてもらいたい。それは正しいことです」という意味のお答えをされました。

　イエスは救い主として罪人の身代わりとなるために、ご自身を罪人たちと同じようにされたのです。同時に特別な仕方で聖霊が主の上に降り、「あなたは、わたしの愛する子、わたしはあなたを喜ぶ」という天からの声をもって、御父が「罪人の身代わりとなられる大祭司」としてイエスに宣言されたのです。

　低くなられた高いお方に心から感謝しましょう。

～祈り～

主よ。あなたはバプテスマにおいても、ご自身を罪人と同じようにされたことを、恐れつつも感謝いたします。

【学びのために】

主イエスがバプテスマを受けられたことの意義を、文脈や他の福音書の並行記事と併せて読みながら考えるとよいでしょう。特に、「それは正しいことです」（マタイ 3.15）と言われていることを覚えましょう。